

MRI検査における金属対応一覧表

MRI検査では、強力な磁場を使用するため、体内に金属がある方や金属製品のものに身につけている方は検査ができない場合があります。安全に検査を行うためには事前の確認が必要です。

この一覧表は、体内に留置された医療機器（ペースメーカーなど）や装着している金属製品（入れ歯など）について、

MRI検査が可能かどうかを示したものです。ご自身に該当する項目があるか事前にご確認ください。

なお、一覧表に記載のない金属製品やご不明な点がありましたら、下記連絡先にお問い合わせください。

△ 注意事項

本一覧表は当院MRI装置での基準に基づいた参考資料です。すべての症例・施設での安全性を保証するものではありません。

体内電子機器	MRI非対応ペースメーカー	禁忌	
	条件付きMRI対応ペースメーカー	検査可（留置後6週間以上経過で検査可）	
	MRI非対応植込み型除細動器	禁忌	
	条件付きMRI対応植込み型除細動器	検査可（留置後6週間以上経過で検査可）	
	体内神経刺激装置	禁忌	
	骨成長刺激装置	禁忌	
	人工内耳	禁忌	
	深部脳刺激装置（DBS）	禁忌	
	植込み型心電図記録計（ICM）	検査可	
体内金属	スワングアンツカテーテル	禁忌	
	整形外科のインプラント	骨スクリュー、プレートであれば術直後でも検査可 膝の十字靭帯再建に用いられるPerfix Interference Screwは禁忌 （詳細不明であれば要確認）	
	脳動脈瘤クリップ	昭和53年（1978年）以前のクリップは検査不可	
	シャントチューブ	検査可（メドスはMRI前後にXPで圧の確認が必要）	
	コイル、ステント、フィルター、ポート	検査可	
	頸動脈クランプ	Poppen-Blaylockの製品は禁忌	
	膵管・胆管・大腸ステント	MRI対応なら検査可（要確認）	
	消化管クリップ	留置後1ヶ月以上経過で検査可	
	人工心臓弁	Star-Edward600番以前（1970年以前）の製品は禁忌	
	ステントグラフト	留置後8週間以上経過で検査可	
	胸骨ワイヤー	検査可	
	尿管ステント	禁忌	
	腹膜透析チューブ	検査可	
	磁石式人工肛門（磁石式ストーマ）	禁忌	
	子宮内避妊具	ミレーナ・ノバT380・避妊ベッサリーは検査可	
	iStent（緑内障術後）	検査可	
	緑内障フィルトレーションデバイス （アルコンエクस्प्रेस）	挿入後2週間以上経過で検査可	
	磁力で付着する義眼	禁忌	
	美容金糸	禁忌	
	眼窩内金属異物	存在する可能性が高ければXP・CTで確認 確認後医師の判断で検査の可否決定	
	付着品など	入れ墨、アートメイク	火傷や変色を生じる場合があり、承諾された方のみ検査可
		薬剤浸透性絆創膏	検査時に外す必要あり
		コンタクトレンズ	検査可
カラーコンタクトレンズ		検査時に外す必要あり	
マグネットネイル・ジェルネイル		検査不可（検査日変更 or 必要であれば手袋を装着し検査）	
インスリンポンプ・持続グルコース測定器		検査不可（検査日変更 or 必要であれば外して検査）	
磁石式の入歯		検査時に外す必要あり	
その他	尿道カテーテルのDIBキャップ	DIBキャップを外して検査可	
	妊婦	14週以降1.5Tで検査可	
	白内障術後	検査可	

禁忌：MRI検査を行うことはできません。 検査不可：安全に検査が行える対応をして、検査を行う場合もあります。

2025.9.4

ご不明な点は、お問い合わせください。

社会医療法人 医翔会

札幌白石記念病院

☎ 011-863-5151